広告 企画・制作 毎日新聞社広告局

取材は目黒天空庭園(東京都目黒区)にて行われた

都市公園法施行60周年
古都保存法施行50周年
国営公園制度制定40周年

今日は みどりの日

# 公園の可能性と未来像

対談 造園家・ランドスケープアーキテクト 涌井 雅之さん × 毎日新聞特別編集委員 岸井 成格

**暮らしにうるおいをもたらす公園。今年は、都市公園の設置基準などを定めた都市公園法の施行から60周年にあたる。みどりの日を機会に、公園の多彩な役割から未来像まで、数多くの公園づくりを手掛けてきた造園家の涌井雅之さんと、岸井成格・毎日新聞特別編集委員が語り合った。**

## 公園の充実は、ライフスタイルの象徴

涌井 雅之さん

わくい・まさゆき
造園家・ランドスケープアーキテクトとして人と自然の空間的共存をテーマに活動。「ハウステンボス」のランドスケーププランニングや「愛・地球博」における会場演出総合プロデューサーなど、数々の作品や計画に携わっている。TBS「サンデーモーニング」コメンテーター。(一社)日本公園緑地協会副会長。

**コミュニティの場、そして学びの庭として**

**――都市公園法の施行から60年。その間、日本の公園はどんな役割を担ったのですか。**

岸井 施行された1956年は、戦後の経済成長に向けて日本が立ち上がろうとする頃。焼け野原を脱して新しい社会が形成されていく際、公園は街づくりの大きなテーマでした。

涌井 経済発展を加速させたのが1964年の東京五輪です。実は招致時、国際的に問題となったのが、日本の都市には公園が少ないということ。江戸時代まで緑が多かったにもかかわらず、近代化のなかで忘れられていたのですね。「公園は都市の肺」といいますが、その頃には欧米の都市が公害・疫病対策のため、公園整備を進めていたのと対照的でした。

岸井 それもあって、日本の公園面積は国際的にみても充実していくわけですね。私自身も植林活動などを通じて、森や公園を大切な問題と考えるようになりました。そして時代の変化とともに環境問題、また子育て、コミュニケーション、防災、観光といった多面的な役割が期待されるようになっていますね。

涌井 今までの都市は人が集まって、労働者として働いて、都市全体の経済に貢献していく――そのために住民がいたといえます。今後は反対に、住む人のライフスタイルをかなえるのが都市であり、公園がそれを象徴する空間になっていくとみています。

**――(対談場所である)目黒天空庭園もそんな新しい公園ですね。涌井先生も深く関係されたとのことですが。**

涌井 利用する方々にコミュニティが生まれるきっかけとなる場所を意識しました。日ごろのコミュニケーションはもちろん、大規模災害や、暮らしのなかで万一の事態が起きたとき、コミュニティが形成されていれば役に立ちます。今後はパパ・ママだけでなく、じいじ・ばあばの「公園デビュー」も増えてほしいですね。

**――それは面白いですね。ほかにも、公園内にある「食育」のための畑が気になりました。**

涌井 都市に住んでいるお子さんたちは、命がどう誕生して、どう巣立っていくのか間近で感じる機会が少ないのです。例えばトンボが飛んできて産卵し、ヤゴになり、またトンボになる。ここで自分が育てた米や野菜を食べる。都市公園に田畑があれば、命の循環を直接目にすることができます。

岸井 コミュニティの場であり、学びの場でもあると。

涌井 公園や緑を増やす意味のひとつは、私たちの暮らしがほかの生き物に支えられているという自覚を育むことだと思うのです。

聞き手
フリーアナウンサー 海保知里さん
かいほ・ちさと
1999年、TBSにアナウンサーとして入社。2004年10月から「はなまるマーケット」のサブ司会者として活躍。08年6月末にTBS退社後、アメリカでの生活を経て2014年末に帰国。一男一女の母として子育てをしながら、仕事に日々奮闘している。

**「メンテナンス」から「マネジメント」へ**

**――これからの都市公園に求められるものは。**

涌井 従来は公園をつくることに熱心なあまり、できた後は維持が優先で、利用者の視点が欠けがちでした。公園面積が充実したいま、「メンテナンス」から柔軟な「マネジメント」に発想を変えることが最大の課題です。

岸井 多様な人が活用できる公園。そのために保育士や介護士を常駐させるというアイデアも出てきていますね。

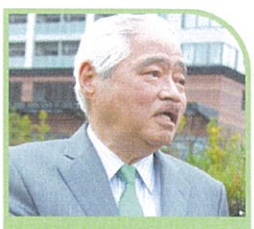
涌井 公園は空き地ではありませんから、単に保育園を建てる用地としては見てほしくない。あくまで公園があり、そこに保育士さんがいるなど、柔軟な活用には大賛成です。公園は市民のものと考えれば、結婚式を挙げたりしてもいいのです。

先日ドイツの公園を訪れた際、その公園が好きだったおじいさんが亡くなった後、家族が寄贈したというベンチがありました。背もたれに名前入りのプレートがあり、家族が亡くなる度にプレートが増えているのだそうです。天国にいる家族がそこから公園を眺めるかもしれない――その発想が素晴らしいですね。

岸井 デメリットを不安がるのではなく、コミュニティの場であることを第一に柔軟に考えたいですね。日本では急速な少子高齢化と人口減少が問題になっているなかで、地方活性化を考えるうえでも、新しい都市公園がにぎわいを呼ぶかもしれません。

## 本当の豊かさ、それは公園にある

岸井 成格



きしい・しげただ
1967年、毎日新聞社入社。熊本支局を振り出しに、政治部、ワシントン特派員、政治部副部長、論説委員、社長室委員、政治部長、編集局次長、論説委員長、特別編集委員、主筆などを歴任。現在、毎日新聞特別編集委員。今年4月からはTBSスペシャルコメンテーターも務めている。環境省の名付け親の一人でもある。

涌井 街や交通網も含めた地域全体の「エリアマネジメント」の中核に、都市公園を位置づけられれば、幅広い可能性が生まれます。ビジネスチャンスにもつながり、それによって公園そのものもより良くしていけます。

**――さまざまな立場の人がアイデアを出して一緒につくっていくのですね。**

涌井 民間と一緒になって発展していく公園もあれば、コミュニティの中核として地域に愛される公園もある。管理ではなく「マネジメント」発想の多種多様な公園が生まれてくると、都市ももっと魅力的になるでしょう。

岸井 成熟社会といわれるように、物質的な豊かさを求める段階は終わり、精神的な豊かさを求める時代になっています。世界的にみても成長の時代が過ぎ去ったいま、その先端を走ってきた日本人は、本当の豊かさや幸せとは何か考えなければいけません。都市公園は、その拠点となる場所なのですね。

## 全国で話題 都市公園の新たなスタイル

**ストック効果**

### 子どもたちが自然と触れ合う場に

**練馬区立こどもの森**(東京都練馬区)

「自然×冒険×交流」をコンセプトとし、子どもたちが、練馬区に昔から残る樹林地や畑などのみどりに触れながら、自由な発想で遊べる場所とすることを目指し、2015年に開園した。プレーリーダーが常駐し、子どもたちが自ら考え、自由に遊べるようサポートしている。毎日、木登りや泥遊び、秘密基地づくりなどをして遊ぶ子どもたちでにぎわっている。

**民間と連携**

### 都市の中で「パーク・リゾート」を提案

**西南杜の湖畔公園**(福岡県福岡市)

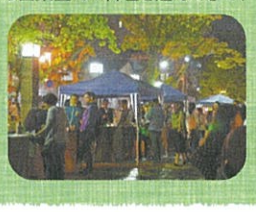
都市にありながら湖と森に囲まれた公園に、民間のカフェレストラン「GREEN GATE」が昨年オープン。身近な公園で癒やされながらリゾート気分を味わえる「パーク・リゾート」を提案している。さらに同レストランは園内のイベントやさまざまな情報発信、周辺施設の植栽管理、広場の清掃も手掛け、行政と連携した幅広いパークマネジメントに挑戦している。

**柔軟な活用**

### 公園が月に一度のバーに変身

**西川緑道公園**(岡山県岡山市)

都市公園に柔軟な活用も求められるなか、この公園は月に一度、満月に近い土曜日に「満月BAR」という和やかなバーに変身。当日は公園内でチケットと引き替えに料理を注文すると、周辺の飲食店から出来立ての料理を運んできてくれる。4～10月の間は毎月開催されており、毎回300～500人がお酒と料理、会話を楽しむ場として親しまれている。



**新たなモデルケース**

### 高速道路の上にあるみどり

**目黒天空庭園**(東京都目黒区)

首都高速道路・大橋ジャンクションの屋上を利用した公園で、太陽の光を浴びながら、まさに「空中」からの眺めが楽しめる。約1000本の樹木やみどりのアーチを見ながら散策できるだけでなく、近隣住民がワインづくりに生かすブドウ棚があるなど、さまざまな新しい試みも実施。公園の多様な側面を取り込んで一体的に整備した事例として注目されている。

**"平成28年度「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会"開催**

10/28(金)ニッショーホール・会議室(日本消防会館)にて
"平成28年度「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会"を開催いたします。

第一部 午前 事例発表会　第二部 午後 全国大会

ご希望の方はどなたでもご参加頂けます。申し込み等詳細につきましては一般社団法人日本公園緑地協会HP http://www.posa.or.jp/をご覧ください。

【お問い合わせ】 (一社)日本公園緑地協会 総務部総務課 TEL.03-5833-8551


**都市公園等コンクール 平成27年度国土交通大臣賞 受賞作品・団体紹介**

都市公園等コンクールは、都市公園等の設計、施工、材料・工法・施設および管理運営について特に優秀なものを表彰し広く紹介することにより、都市公園に関する技術水準の向上と新たな時代の都市公園の創造に寄与し、多くの人々により良い都市公園が提供されることを目的としたコンクールです。本コンクールは昭和60年から毎年実施しています。

**平成27年度都市公園等コンクール国土交通大臣賞受賞作品**

**設計部門**
おとめ山公園
「おとめ山公園の拡張整備」
受賞団体:新宿区、中央大学理工学部人間総合理工学科環境デザイン研究室、株式会社東京ランドスケープ研究所

**材料・工法・施設部門**
国営明石海峡公園(淡路地区)
「淡路花博2015 花みどりフェア～花・ひょうごガーデンショー～」
受賞団体:公益財団法人兵庫県園芸・公園協会、一般社団法人兵庫県造園建設業協会、松井金網工業株式会社、株式会社ヘッズ

**施工部門**
横浜動物の森公園
「横浜動物の森公園アフリカのサバンナ草原エリア整備工事」
受賞団体:濱田園・アライグリーン建設共同企業体、藤造園建設株式会社、小島造園株式会社、横浜市環境創造局公園緑地整備課

**管理運営部門**
新宿区立新宿中央公園
「パークマネジメントで公園は変わる～新宿中央公園～」
受賞団体:一般財団法人公園財団、株式会社昭和造園

全国都市公園整備促進協議会　一般社団法人 日本公園緑地協会